

**留学先国名** : カナダ

**留学先学校名** : ビクトリア大学

**留学期間** : 平成 27 年 4 月 11 日～27 年 7 月 15 日

私は 2015 年 4 月から 7 月までの 3 か月間、カナダのビクトリア大学へ奨励語学留学をしました。私自身留学をすることが初めてで、期待と不安が入り混じった気持ちで出国しましたが、やはり始めの約 1 か月は対人関係、言葉の壁や文化の違い、そして英語の難しさから自分の想像していた留生活と実際の現地の生活のギャップがあり、苦労することの方が多かったです。そのような状況の中でも約 3 か月という短い留生活を充実したものにしたいという気持ちから、自分のペースで試行錯誤を試みながら留生活を過ごしていました。帰国して自身の留学を振り返ると、苦労したこともありましたが、同じぐらい楽しくて留学をしなければ経験できなかったことが多くあったので、貴重な時間をカナダで過ごせて、そして学生の間に留学が出来て本当に良かったと思っています。

留学中の滞在方法はホームステイを選びました。この選択は始めから決めていたことで、実際に現地の家庭で生活することで文化の共有をすること、一緒に生活をしているからこそホストファミリーから聞ける話があると思っていました。ホームステイでの生活が始まると、最初のうちはホストファミリーの会話がほとんど聞き取れず理解していなくても頷いてしまっていました。そのままだと当初考えていたようなホームステイを選んだ意味がなくなると思ったので、英会話が理解できなかつたらその時にもう一度言ってもらえるように聞き直すこと、わからない単語や語句はそのたびにメモを取り、後で調べて書き留める単語帳を作り、英語のフレーズを覚えていけるように習慣化していきました。完璧にとまではいかなくとも、徐々にファミリーが話す英語も理解できるようになり、会話も続くようになりました。毎日の会話は勿論のこと、週末はファミリーと一緒に出かけ色々な場所へ連れて行ってもらい、毎晩夜は洋画を観ることを習慣にしていました。ホームステイを選択したからこそ実現できたことばかりで、帰国した今もファミリーとはメールでのやりとりが出来ているので、留学したことによって生まれた出会いをこれからも大切にしていきたいと思っています。

大学での授業はリスニング、ライティング、リーディング、スピーキングを 3 か月間集中的に、万遍なく学べるカリキュラムでした。クラス構成は日本、韓国、メキシコ、タイ、ベネズエラ、ケベックの人々からなる 14 人編成のクラスで、日本人が比率的に少し多かったです。授業中は日本人同士でも英語を話すことをルールとしていたので、さほど国籍比率は気になりませんでした。万遍なく学ぶといってもやはり授業の中で他国籍のクラスメイトとの会話やディスカッションをすることが多く、うまく話せなくても発言しなければならない状況が常にあったので葛藤と緊張で気持ちが押しつぶされそうになったときもありました。また、授業の中でプレゼンテーションが何度もあり、他の国籍のクラスメイトとペアになって創り上げていくプレゼンテーションもありました。中でも印象に残っているのが韓国人のクラスメイトとペアになり、カナダのユコン州について発表した最終プレゼンテーションです。準備の段階からペアの人とのモチベーションの差を感じていたのですが、私は 2 人で協力して良いプレゼンテーションを創り上げたいと思っていたので、自分が積極的に動いていこうと

決心しました。そこでポスターのデザインや発表する案を多めに考え、自分から提示することで、ペアのクラスメイトに意見を理解してもらい、そこからクラスメイトの意見も出してもらうことで2人の中でより良い案を考え出すことができました。この過程の中で、自分の思い浮かんだ案をそのまま英語に訳し、相手に伝えなければならないところに私はとても苦労しました。そんな時は文字や図で表すことによって理解してもらえたか確認しながら話していました。本番が終わってペアのクラスメイトから感謝の言葉を受け取ったとき、嬉しい気持ちと達成感でいっぱいになりました。始めは母国語が違うクラスメイトとひとつのものを創り上げることに少し億劫な気持ちがありましたが、このプレゼンテーションを通じて仲も深まり何かを協力して創り上げていく大切さを知れたので、このような機会があってよかったと思っています。また、3か月の間授業時に出される宿題が毎回多く、帰宅後は復習と課題をこなすことに必死な毎日でした。けれど、この大量の宿題があったからこそ毎日英語を勉強する習慣が出来、自分の基礎からの英語力も上がったのではないかと考えています。日を重ねるにつれクラスメイトとも仲良くなり、クラス全員で夜ご飯に行ったり、メッセージのやり取りをする友達も増えていきました。外国の友達を多く作るには自分から積極的に話しかけることが大切で、仲良くなりたいという気持ちがあれば、言葉が多少拙くてもすぐに距離が縮まると実感しました。帰国から約1か月経ちますが、今でもカナダで毎日書いていた英語日記を続けており、カナダで購入した洋画を観たり、今までは全く関心のなかった洋楽も聴くようになりました。学んだ英語が無駄にならないようこれらのことはこれからも継続していくつもりです。そして、これから就職活動をするにあたって今までは将来の道として考えてなかった英語を活用できる仕事も1つ視野に入れようと思っています。今回の留学で私は英語を勉強することの楽しさを改めて知れたのは勿論のこと、何をするにも自分から積極的に行動することの大切さを実感する留学でした。英語力に関してはまだまだ自分の中では発展途中なので、大学の授業や自主学習を続けてスキルアップをしていきたいと思っています。